

本様式は「特定役員」に該当しない方にご利用いただける様式です。

特定役員に該当する方は、国税庁のwebサイト上に掲載されている「退職所得の受給に関する申告書」をご利用ください。

年 月 日		年分 退職所得の受給に関する申告書 兼 退職所得申告書	
税務署長 殿 / 市町村長 殿			
退職手当の支払者の	所在地	〒101-0047 東京都千代田区内神田3-6-2 アーバンネット神田ビル16階	住所
	名称	エヌ・ティ・ティ企業年金基金	氏名
	法人番号	9700150003112	個人番号
			給与支払者に提供済の個人番号と相違ない
		あなたの	その年1月1日現在の住所

このA欄には、全ての人が、記載してください。(あなたが、前に退職手当等の支払を受けたことがない場合には、下のB以下の各欄には記載する必要がありません。)

A	① 退職手当等の支払を受けることとなった年月日	年 月 日	③ この申告書の提出先から受ける退職手当等についての勤続期間	自 年 月 日 至 年 月 日	年
	② 退職の区分等	<一般・障害の区分> 一般・障害 [ ] <生活扶助の有無> 有・無	うち 短期勤続期間	自 年 月 日 至 年 月 日	年

あなたが本年中に他にも退職手当等の支払を受けたことがある場合には、このB欄に記載してください。

B	④ 本年中に支払を受けた他の退職手当等についての勤続期間	自 年 月 日 至 年 月 日	⑤ ③と④の通算勤続期間	自 年 月 日 至 年 月 日	年
	うち 短期勤続期間	自 年 月 日 至 年 月 日	うち 短期勤続期間	自 年 月 日 至 年 月 日	年
			うち 一般勤続期間	自 年 月 日 至 年 月 日	年

あなたが前年以前4年内(その年に確定拠出年金法に基づく老齢給付金として支給される一時金の支払を受ける場合には、19年内)に退職手当等の支払を受けたことがある場合には、このC欄に記載してください。

C	⑥ 前年以前4年内(その年に確定拠出年金法に基づく老齢給付金として支給される一時金の支払を受ける場合には、19年内)の退職手当等についての勤続期間	自 年 月 日 至 年 月 日	⑦ ③又は⑤の勤続期間のうち、⑥の勤続期間と重複している期間	自 年 月 日 至 年 月 日	年
			⑧ うち 短期勤続期間との重複勤続期間	自 年 月 日 至 年 月 日	年

A又はBの退職手当等についての勤続期間のうち、前に支払を受けた退職手当等についての勤続期間の全部又は一部が通算されている場合には、その通算された勤続期間等について、このD欄に記載してください。

D	⑧ Aの退職手当等についての勤続期間(③)に通算された前の退職手当等についての勤続期間	自 年 月 日 至 年 月 日	⑩ ③又は⑤の勤続期間のうち、⑧又は⑨の勤続期間だけからなる部分の期間	自 年 月 日 至 年 月 日	年
	うち 短期勤続期間	自 年 月 日 至 年 月 日	⑪ うち 短期勤続期間	自 年 月 日 至 年 月 日	年
	⑨ Bの退職手当等についての勤続期間(④)に通算された前の退職手当等	自 年 月 日 至 年 月 日	⑫ ⑦と⑩の通算期間	自 年 月 日 至 年 月 日	年
	うち 短期勤続期間	自 年 月 日 至 年 月 日	⑬ うち⑧と⑪の通算期間	自 年 月 日 至 年 月 日	年

B又はCの退職手当等がある場合には、このE欄にも記載してください。

E	区分	退職手当等の支払を受けることとなった年月日	収入金額(円)	源泉徴収税額(円)	特別徴収税額(円)	支払を受けた年月日	退職の区分	支払者の所在地・名称
	B	一般	年 月 日			年 月 日	一般障害	
		短期	年 月 日			年 月 日	一般障害	
	C	年 月 日				年 月 日	一般	

## 注意事項

1. この申告書は、退職手当等の支払を受ける際に支払者に提出してください。提出しない場合は、所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額は、支払を受ける金額の20.42%に相当する金額となります。また、市町村民税及び道府県民税については、延滞金を徴収されることがあります。
2. 「B」欄の退職手当等がある人は、その退職手当等についての退職所得の源泉徴収票(特別徴収票)又はその写しをこの申告書に添付してください。
3. 支払を受けた退職手当等の金額の計算の基礎となった勤続期間に短期勤続期間が含まれる場合は、その旨並びに短期勤続期間、年数及び収入金額等を所定の欄に記載してください。

## 申告書の書き方

1. 「①」欄には、退職年月日(会社の役員等の退職手当等で、株主総会等の決議を要するものは、その決議により支払を受ける金額が具体的に定められた年月日)を記載します。
2. 「②」欄には、在職中に障害者となったことに直接起因して退職した人は、「障害」を○で囲み、( )内に障害の状態、身体障害者手帳等の交付年月日等を記載します。その他の人は「一般」を○で囲みます。また、その年1月1日現在で生活保護法による生活扶助を受けている人は、生活扶助の「有」を、その他の人は「無」を○で囲みます。
3. 「③」欄には、この申告書を提出して今回支払を受ける退職手当等についての勤続期間とその年数(1年未満の端数は切上げ)を記載します。この場合、勤続期間は、原則としてその支払者の下で引き続き勤務した期間(その支払者から前に退職手当等の支払を受けている場合には、前の退職手当等の計算の基礎となった勤続期間の末日以前の期間を除きます。)によります。ただし、次の期間がある場合には、その期間を加えた期間によります。
  - (1)その支払者から受けた前の退職手当等の計算の基礎となった勤続期間で、今回の退職手当等の計算の基礎となる勤続期間に通算された期間
  - (2)一時他に勤務していたなどのため、その支払者の下での勤務が中断した人の、その中断前に引き続き勤務した期間(一時他に勤務することとなった際に、その支払者から退職手当等を受けなかった場合に限りです。)
  - (3)他に勤務していた期間(その支払者の下で勤務しなかった期間に限りです。)で、今回の退職手当等の計算の基礎となる期間に通算された期間また、「③」欄の内書には、上記の勤続期間のうち、短期退職手当等(※1)に係る勤続期間(以下「短期勤続期間」といいます。)の勤続期間及びその年数(1年未満の端数切上げ)を記載します。

※ 1 短期退職手当等とは、短期勤続年数(役員等以外の者として勤務した期間により計算した勤続年数が5年以下であるものをいい、この勤続年数については、役員等として勤務した期間がある場合、その期間を含めて計算します。以下同じです。)に対応する退職手当等として支払を受けるものであって、特定役員退職手当等に該当しないものをいいます。

※ 一般退職手当等とは、退職手当等のうち、特定役員退職手当等及び短期退職手当等のいずれにも該当しないものをいいます。
4. 「④」欄には、本年中に支払を受けた他の退職手当等についての勤続期間を上記3の方法で計算して記載します。また、内書は、上記3「③」欄の内書に倣い記載します。
5. 「⑤」欄には、「③」欄と「④」欄の勤続期間について、重複する部分は二重に計算しないように通算した勤続期間とその年数(1年未満の端数切上げ)を記載します。また、内書の「うち一般勤続期間との重複勤続期間」、「うち短期勤続期間との重複勤続期間」及び「うち短期勤続期間」の各欄は、上記3「③」欄の内書に倣い記載しますが、これらの重複勤続期間には全重複勤続期間(短期勤続期間及び一般勤続期間が重複している期間をいいます。以下同じです。)を含みません。更に、「うち全重複勤続期間」欄は全重複勤続期間について、「うち短期勤続期間」の内書の「うち一般勤続期間との重複勤続期間」欄は短期勤続期間と一般勤続期間が重複している期間(全重複勤続期間を除きます。)について、その該当の有無、有の場合は、その重複勤続期間及びその年数(1年未満の端数切上げ)を記載します。
6. 「⑥」欄には、前年以前4年内(その年に確定拠出年金法に基づく老齢給付金として支給される一時金の支払を受ける場合には、19年内)に支払を受けた退職手当等(以下「4年内の退職手当等」といいます。)がある場合に、その4年内の退職手当等についての勤続期間を記載します。ただし、4年内の退職手当等の収入金額がその退職手当等についての退職所得控除額に満たなかったときは、その4年内の退職手当等の収入金額に同じ、その4年内の退職手当等についての勤続期間の初日から次表の算式によって計算した数(小数点以下の端数切捨て)に相当する年数が経過する日までの期間を記載します。

4年内の退職手当等の収入金額	算式
800万円以下の場合	その収入金額÷40万円
800万円を超える場合	(その収入金額-800万円)÷70万円+20

7. 「⑦」欄には、「③」欄又は「⑤」欄の勤続期間のうち、「⑥」欄の勤続期間と重複している期間を記載します。また、「④」欄には、この重複している期間のうち、「③」欄又は「⑤」欄の短期勤続期間と重複する期間の有無、有の場合は、その重複勤続期間及びその年数(1年未満の端数切捨て)を記載します。
8. 「⑧」欄又は「⑨」欄には、「③」欄又は「④」欄の勤続期間のうち、その勤続期間に通算された、前の退職手当等についての勤続期間(上記3の(1)又は(3)の期間((3)の期間については、その「他」の勤務先から前に退職手当等の支払を受けている場合に限りです。))とその年数(1年未満の端数切捨て)を記載します。また、内書には、その勤続期間のうち、短期勤続期間の有無、有の場合は、その短期勤続期間及びその年数(1年未満の端数切捨て)を記載します。
9. 「⑩」欄には、「③」欄又は「⑤」欄の勤続期間のうち、「⑥」欄又は「⑨」欄の勤続期間だけからなる部分の期間とその年数(1年未満の端数切捨て)を記載します。また、「⑩」欄には、その勤続期間のうち、短期勤続期間の有無、有の場合は、その短期勤続期間及びその年数(1年未満の端数切捨て)を記載します。
10. 「⑪」欄には、「⑦」欄と「⑩」欄の勤続期間について、重複する部分は二重に計算しないように通算した勤続期間とその年数(1年未満の端数切捨て)を記載します。また、「⑪」欄には、「④」欄と「⑩」欄の勤続期間について、重複する部分は二重に計算しないように通算した勤続期間とその年数

本様式は「特定役員」の日付はすべて和暦で記入（西暦不可）  
 特定役員に該当する方は「退職所得の受給に関する申告書」をご利用ください。

年 月 日		年分 退職所得の受給に関する申告書 兼 退職所得申告書	
長 殿 / 市町村長 殿		〒	
所在地	〒10 東京 アーバンネット 麹町3-6-2	住所	
名称	エス・ティ・テ	現住所、氏名	あ 氏
法人番号	9700150003112	退職年1月1日時点の住所	給与支払者に提供済の個人番号と相違ない
その年1月1日現在の住所			

**退職日（R○年で記入）**

① 退職手当等の支払を受けることとなった年月日

年 月 日

勤続期間を記入  
 年は年単位で切り上げて記入  
 【例】7か月⇒1と記入  
 1年1日⇒2と記入  
 1年11か月⇒2と記入

自 年 月 日 年

至 年 月 日 年

② 退職の区分等

<一般・障害の区分>

一般・障害

<生活扶助の有無>

有・無

うち 短期勤続期間

自 年 月 日 年

至 年 月 日 年

勤続年数が5年未満の場合記入

あなたが本年中に他にも退職手当等の支払を受けたことがある場合には、このB欄に記載してください。

④ 本年中に支払を受けた他の退職手当等についての勤続期間

自 年 月 日 年

至 年 月 日 年

うち 短期勤続期間

自 年 月 日 年

至 年 月 日 年

うち 一般勤続期間

自 年 月 日 年

至 年 月 日 年

⑤ ③と④の通算勤続期間

自 年 月 日 年

至 年 月 日 年

退職所得の支払いを受けた場合はこのB欄（④⑤）も記入

あなたが前年に確定給付年金として支給される一時金の支払を受けた場合には、19年内に退職手当等の支払を受けたことがある場合は、このC欄に記載してください。

⑥ 前年に確定給付年金として支給される一時金の支払を受けた場合には、19年内の退職手当等についての勤続期間

自 年 月 日 年

至 年 月 日 年

⑦ ③又は⑤の勤続期間のうち、⑥の勤続期間と重複している期間

自 年 月 日 年

至 年 月 日 年

⑧ ④のうち 短期勤続期間との重複勤続期間

自 年 月 日 年

至 年 月 日 年

（記入に加え、必ず退職所得の源泉徴収票のコピーを同封してください。）

A又はBの退職手当等についての勤続期間のうち、前に支払を受けた退職手当等についての勤続期間の全部又は一部が通算されている場合には、その通算された勤続期間等について、このD欄に記載してください。

⑧ Aの退職手当等についての勤続期間(③)に通算された前の退職手当等についての勤続期間

自 年 月 日 年

至 年 月 日 年

うち 短期勤続期間

自 年 月 日 年

至 年 月 日 年

⑩ ③又は⑤の勤続期間のうち、⑧又は⑨の勤続期間だけからなる部分の期間

自 年 月 日 年

至 年 月 日 年

⑨ Bの退職手当等についての勤続期間(④)に通算された前の退職手当等

自 年 月 日 年

至 年 月 日 年

うち 短期勤続期間

自 年 月 日 年

至 年 月 日 年

⑪ ⑦と⑩の通算期間

自 年 月 日 年

至 年 月 日 年

⑫ ⑧と⑨の通算期間

自 年 月 日 年

至 年 月 日 年

B欄、またはC欄の記入があった場合はこのE欄も記入

B又はCの退職手当等がある場合には、このE欄にも記載してください。

区分	退職手当等の支払を受けた年月日	収入金額	源泉徴収税額	特別徴収税額（円）	支払を受けた年月日	退職区分	支払者の所在地・名称
B	一般	年			年 月 日	一般	
B	短期	年			年 月 日	一般	
C	年				年 月 日	障害	

※退職所得の支払を受けた場合は（退職金を受け取った場合は）必ず、退職所得の源泉徴収票のコピーを同封してください。（お手元がない場合は、お勤めしていた事業所に、再発行の依頼をお願いいたします。）

※不明な箇所がある場合には、該当箇所を空欄でご提出ください。